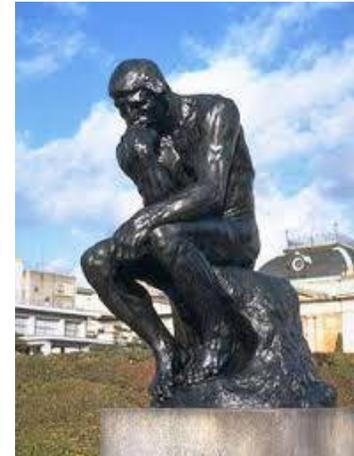


—— 会員定着システムを兼ねた ——  
ブレイクスルー思考による、今後を見据えたブレ  
イクスルー思考の普及システム

なぜ、普及しない、なぜ定着しない



何のために普及する、何のために定着する  
どうなればよい  
どうやって普及させる、どうやって定着させる



2018. 5

東京支部 支部長 松永讓治

問題: ブレイクスルー思考がなかなか普及しない  
課題(テーマ): 今後の普及の方向と方法を確立したい

モノの機能

モノ・商品開発  
経営層・リーダー層  
経営・企画・創造



人間の目的

価値・サービス創造  
普通のビジネス  
パーソン  
日常業務

今後は70%を占める第3次産業に従事する普通のビジネスパーソンをターゲットとした日常業務での普及(活用)をめざしその一つの実現システムを提示したい

# 人間フェーズ

## 【関係者関与】

当学会役員・会員・インストラクター資格保持者及びそれを目指す人・  
ビジネスパーソン・その上司・所属企業(経営者・役員・人事部・企画  
部門・教育部門など)・取引先・教育研修会社・巷の講師・その予備  
軍……

## 【場の設定(システムの境界枠)】

【だれ】インストラクター資格を持つ会員(特に企業OB・現存講師)

(【視点】普通のビジネスパーソンの視点で考える)

【どこ】企業内外

【いつ】今後1~3年以内

# 目的フェーズ (価値観含む)

テーマ: EBTの企業内社員への普及

取り掛かりシステム: 社員への普及システムとしての教育研修

EBTの知識を身に付ける

EBTの知識を使う

EBTのスキルを使う

EBTの知識・スキルを業務で(自然に)活用する(着眼目的)

業務の効果性を確保させる

業務の成果・(お客様にとっての)価値を創造する

その企業の成長・発展に資する

# 未来解フェーズ

コンセプト: EBTのスキルを業務で自然に(無意識に)活用する  
(名称): 三位一体普及システム

## 【無意識の活用イメージ(あるべき姿)】

- \* 会議の目的を明らかにし、準備をしてから参加する
- \* メールを発信する前に文章内容と求めることの合致を確認
- \* コピーを頼まれる時に使用目的を確認しコピーサイズを決める
- \* 電話をかける時に、自分の目的やゴールを意識する
- \* 仕事をする時その目的(成果・価値)の実現イメージを持つ
- \* 部門ミッションを反映した戦略・戦術・仕事を企画する
- \* アクションプランではなく、実行システムを設計する
- \* 説得するのではなく未来を見せて周囲を導く(リーダーシップ)
- \* 競争しないで響創・共有・協働を考える

# 生解フェーズ

(ビジネスモデルとしての1開催20名普及システム)

ものまね厳禁という原則に抵触するが、目的情報収集の原則に基づき異なるテーマの企業内普及システムを取り入れる

## 既存システム

インストラクター・講師候補者の発掘

インストラクター認定(学会)

## 新ビジネスモデル(成立の可能性は不明)

標準教材一式の開発・提供

講師スキルトレーニング

講師認定(JMC)

## 新ビジネスモデル(企業内でのニーズ大きい排他的システム))

(研修会社)マーケット開発

(企業)受講者と場の提供

(講師)社員教育研修の実行(1開催20名×年間10回)

ご意見交換タイム